

見て 聴いて キューバ最新情報

11月29日(日) キューバ友好フォーラム

ふるって
ご参加ください!

★2009年、キューバが注目されている4つの理由

キューバが世界的な注目を集めています。なぜなら、第一に本年がキューバ革命から50年にあたるからです。キューバ革命とは何だったのか、革命の成果とは何か、といった点が世界の多くの人々の関心と呼んでいます。

第二は、昨年2月にラウル・カストロ氏が兄のフィデル・カストロ氏の後を継いで国家評議会議長に就任した後のキューバの実情について、世界的な関心が高まっているからです。ラウル時代になって、キューバの政治・外交・経済・社会は変わったのか。変わったとすればどう変わったか、というわけです。

第三は、オバマ政権誕生後、米国とキューバの関係に変化が生じたことです。オバマ政権はこの4月、キューバ革命以来続けてきた対キューバ制裁を一部解除しました。まさに両国関係に「雪解け」の兆しが芽生えたわけです。この動きがさらに強まるのかどうか。両国関係のこれからに世界から熱い眼差しが注がれています。

第四は、キューバがこの6月、米州機構(OAS)に復帰したことです。これには、ラテンアメリカでキューバと友好的な左派政権、中道左派政権が次々に誕生したという背景があります。米国もこうした動きを無視できなくなったわけです。それだけに、キューバがこれらの政権とどんな関係を築いてゆくのか、ひいては米州機構が国際政治でどんな役割を果たしてゆくのかといった点が関心を集めています。

★キューバの今を知ろう!

私たち円卓会議は、こうした動きを踏まえて、キューバの現状を明らかにするフォーラム「行って 見て 聴いて キューバ最新情報」を以下の要領で開催します。ぜひご参加ください。

日時 2009年11月29日(日) 13時~16時30分

会場 パルシステム生活協同組合連合会本部5階会議室

(東京都文京区小日向 4-5-16 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車)

参加費 1000円 ※円卓会議の会員は500円

【第1部】 講演

講師(予定) 伊高浩昭さん(ジャーナリスト・立教大学講師。訳書に『フィデル・カストロ後のキューバ』など)
志賀直輝さん(29歳。3年間海外放浪。今年4月~6月キューバ青年の島で日系移民の家庭で漁師体験)
大森ちえさん(「あ~す農場」(兵庫県朝来郡和田山)。08年5月~2か月間キューバへ。メーデー体験)

【第2部】 トークセッション

ブリガダ2009の参加者による報告会(親子で参加した芳賀典子さん ほか)
かつてブリガダに参加したことのある人の飛び入り参加も歓迎♪

★詳細が決まり次第、会員のみなさんにはハガキでお知らせします。

★ホームページでもご案内しますので、ご覧いただき、PR(情報の転送など)にご協力いただきますよう、よろしくお知らせします。

★★★★★ チラシを同封しました ★★★★★

●キューバ映画祭2009 9月26日(土)~10月9日(金) 会場 ユーロスペース ☎03-3461-0211

●国際有機農業映画祭2009 11月27日(金)~28日(土) オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
※ソビエト崩壊で突然エネルギー危機に襲われたキューバ。どのように危機を克服したのか、その貴重な体験を記録したドキュメンタリー映画「コミュニティの力」が上映されます。

★キューバ友好円卓会議に入会しませんか★

キューバのことをもっと知りたい、キューバの医療や農業、教育の実情を知りたい、キューバに行ってみたいという方、キューバ友好円卓会議に入会しませんか。年会費3000円です。郵便振替口座による入会も随時受け付けています。同封の振込み用紙をご利用ください。

郵便振替口座 00100-9-499950 キューバ友好円卓会議

「5人のキューバ人」について国連総会議長が仲介へ

スパイ容疑で米国に収監されている5人のキューバ人について、ハバナ発のAFPは次のように伝えています。

* * *

ニカラグア人のミゲル・デスコト国連総会議長（写真右）は9月1日、スパイ活動の罪で11年間米国で収監されている5人のキューバ人についてオバマ大統領に仲介するとハバナで語った。

デスコトは「キューバ諸国民友好協会（ICAP）」で家族と面会した後、「私はオバマ大統領に対してできる限りのことをするつもりである。私たちは、5人の収監者のうち2人の妻の刑務所訪問の可能性を要請する手紙を今、受け取ったところだ。」と述べた。デスコト国連総会議長はヘラルド・エルナンデスの妻アドリアナ・ペレス、レネ・ゴンサレスの妻オルガ・サラヌエバが夫と面会できるようにすることを「緊急な目標」と考えている。この2人はそれぞれ、1998年、2001年から一度も夫に会えていないからである。

デスコトは4日間のキューバ滞在の初めにあたり、『愛と希望の手紙』という本の英語版、および5人のキューバ人の母、妻から受け取った手紙をオバマに手渡すつもりだと言った。手紙の内容は明らかにしなかった。

聖職者であり、元ニカラグア外相デスコトは、ゴンサレス、エルナンデス、アントニオ・ゲレロ、ラモン・ラバニノ、フェルナンド・ゴンサレスの親族たちとICAPで会談した。この5人は1998年に拘束され、01年にマイアミの裁判所で無罪となり、15年間から終身刑2倍の刑を受けている。

「オバマはいかなる裁判所にも相談する必要なしに、この司法の異常を正すことができるはずだ。彼は希望の大統領を公約したのであり、5人の母、妻たちのこの希望に応えてくれることを望む」と述べた。

アメリカに囚われている5人のキューバ人士の解放を求める日本百人委員会のホームページ

Free the Cuban Five 5人のキューバ人を救うために <http://freethecubanfive.jp/5cuban.html>

米国が対キューバ制裁を一部緩和

4月13日ワシントン発ロイター電によると、オバマ米大統領は同日、キューバへの渡航や送金などについて一連の規制緩和を発表しました。ブッシュ前政権からの大々的な政策転換の一環です。具体的には、米国系キューバ人がキューバの親族を訪問する回数や滞在期間の制限を撤廃するとともに、訪問可能な親族の範囲を第3親等まで拡大しました。さらに、送金額や送金頻度に対する制限も撤廃しました。ただ、政府当局者や一部共産党員への送金制限は継続されます。

これに対し、キューバのフィデル・カストロ前国家評議会議長は13日夜、「最も厳しい制裁である禁輸措置については何の変化もなく、不十分だ」と指摘する意見を、国営通信社を通じて発表しました。

キューバを知るための新刊紹介 いずれも11・29フォーラム会場で販売予定！ ★★★★★★★★★★★★★★

医師たちが見たキューバ医療の秘密 「いのちの平等」を実現した品格の国

●全日本民主医療機関連合会 視察団編 ●定価(1200円＋税)



本年1月民医連を中心に「キューバの医療実践を学ぶ旅」が実施された。本書はそのときの参加者38名一人ひとりの帰国後の感想文をまとめたものである。医師が中心とはいえ、いろいろな職業、立場の方が参加された。そしてそれぞれの立場でキューバの医療活動とキューバという国について感想を述べられている。

キューバの貧しさ、インフラの不整備に驚かれた方も少なくない。その一方で行き届いた医療制度と教育制度、また医療を通しての国際貢献には一様に感嘆の声が上がった。参加したある院長の言葉を借りれば「この国は偉い、日本は情けない」ということになるのだろう。実質4日の強行視察旅行のため、これでキューバ医療のすべてが分かったとは誰も思っていない。しかし参加したほとんどの方がもう一度キューバに来たいと言っておられた。

本書付録のDVDもコンパクトによくキューバと医療活動を紹介している。



「没落先進国」キューバを日本が手本にしたいわけ

●吉田太郎
●築地書館
●定価 2000円＋税

「またまた出ます！ 吉田太郎さんのキューバ本「わけシリーズ」第5弾！ 10月上旬発売